

10月号

季節は秋

校長 桐ヶ谷 淳子

学 校
だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

夏休みの延長、個別面談の中止等、2学期のスタートは、新型コロナウイルスの感染拡大によって大きな影響を受けました。さらに「今年こそは」と思っていた10月の運動会も、土曜日の開催を市内一斉で見送ることとなりました。本校ではすでにお知らせした通りの日程で、平日に代替行事を行う予定です。代替行事の練習も始まっていますので、水筒や体操着の用意など、よろしくお願いいたします。

緊急事態宣言は9月末をもって解除されましたが、コロナの感染拡大は依然として予断を許さない状況です。第6波の到来を心配する声もあり、学校では基本的な感染拡大防止の対応を続けていくこととなります。「3密を避けること」や「手洗いの励行」など、基本的な事柄を徹底しながら教育活動との両立を図っていきたいと考えています。保護者の皆さまにも、毎日の検温や健康観察チェックシートの記入、登校へのご配慮等引き続きご協力をお願いいたします。また、お子さまや同居のご家族のPCR検査や濃厚接触等についても学校までご連絡ください。なお、平日の18時以降や土日の連絡は下記の番号となります。

新型コロナ専用 070-6557-2803

何をするにも気持ちのいい季節を迎えています。教室で勉強したり、校庭で遊んだりする子どもたちの姿や笑い声は私たち教職員のスタミナ源です。「今できること」を探して、日々の学校生活が子どもたちにとって充実したものになるよう、心と力をあわせていきたいと思っています。

例年私たち職員は、年間を通して官製研修や自主的な研修に参加していますが、コロナ禍で昨年より紙面やオンラインでの代替研修になることが多くなっています。そんな状況ですが、9月は感染対策を講じた上で、校内の職員研修を2度行いました。15日に「食物アレルギー対応 エピペン研修」を、27日には「防災研修」をそれぞれ基本的に全職員参加で実施しました。

「食物アレルギー対応 エピペン研修」は、養護教諭の指導の下、食物アレルギーでアナフィラキシーショック状態を起こした場合の対処法を学びました。担架やAEDなど緊急時に使用する設備の設置場所の確認や、アレルギー対応の事例をDVDで視聴しました。その後、2～3人が1組となってエピペントレーナーを使用して実際にエピペンを打つ練習を行いました。「防災研修」は教育委員会主催のもので、今回は消防署の方に来校していただき、スタンドパイプの使い方の訓練を行いました。スタンドパイプは、大規模地震が起きた際に、同時多発火災の延焼拡大を防ぐために、市内に設置されているものです。こちらもグループになって、スタンドパイプやホースなど本物の消火資機材を使って、消火までの動作の順番や注意点などを教えていただきました。

どちらもとても有意義な研修だったと思います。2つの研修を通して、危機管理についての意識を常に持たなければいけないこと、また知識を頭で理解しているだけでなく、今回のように実際に道具や機材を使う訓練が大切だと、あらためて感じることができました。